

令和4年度 道徳教育 全体計画

学校 番号	4	下高井農林 高等学校	全日制 課程	農業 科
----------	---	------------	--------	------

学校教育目標
1. 真理を探究し、創造の精神をつちかう 2. 礼儀を重んじ、自他の敬愛をはかる 3. 社会の形成者としての責任を自覚し、必要な資質を養う 4. 職業を尊び、勤労の精神を養う 5. 健康に心がけ、明朗闊達な気風を高める
重点目標
1. 地域唯一の農業高校として、地域との連携を図りながら地域資源を活かした授業展開・魅力づくりをすすめる。 2. 生徒が学びたい授業づくりをすすめて、基礎学力の定着と学力伸長を図り進路実現を支援する。 3. 生徒の規範意識・安全意識・人権意識を高め、安心・安全な学校づくりをすすめる。

道徳教育の重点目標
道徳三訓 = 「自律」、「敬愛」、「勤労」 生活信条 = 「時間厳守」、「挨拶励行」、「清掃徹底」 1. 望ましい生活習慣を確立し、心身の健康の増進を図り、節度ある学校生活を実現する 2. 自主・自律の精神を重んじ、自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求する 3. 挨拶などの礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとり、誠実に責任ある行動をする 4. 他の人々に対し思いやりと感謝する心をもち、相手の立場や人格を尊重し、信頼できる良好な人間関係を築く 5. 郷土の自然と環境を愛護し、感動できる豊かな心をもち、かけがえのない自他の生命を尊重する 6. 学校や家族の一員として、自己の役割と責任を自覚し、規範意識を持って、集団生活や家族生活の向上に努める 7. 多様な体験的活動を通して、望ましい勤労観や倫理観、社会観を身に付け、公共の福祉や社会の発展に寄与する

学年	目標	キャリア教育	ホームルーム活動	生徒会活動・部活動等	各教科	
1 年	◎自他を肯定的に受容する心情を養い、コミュニケーションスキルを高めることにより、協調・協同の人間関係を築く。	◎農林業の基礎・基本を身につける。また、次年度に向けた適切な学科選択を行う。 ◎学習活動および他者との交流を通じ、自己理解を深める。 ◎基礎学力・コミュニケーション能力を身につけることにより進路選択の幅を広げる。	◎挨拶と言葉遣い、思いやりと協力など、クラスの人間関係づくりを大切にし、帰属意識を高めるとともに、きまりを遵守し、物事の善悪について正しく判断し行動できる力を養う。 ◎マナーやモラルなど社会生活の秩序についての意識向上を図る。	◎委員会活動・部活動等をおとして、自らの役割をみつめ、集団への貢献を図る。	国語	言語活動と教材をとおして意思疎通を行い、他者と社会に対する想像力を養う。
					地理歴史	人間と社会との関係の中で、生き方や在り方について考え、ものごとを判断する力を育む。
					公民	共生社会を的確に捉え、様々な問題について考え、課題解決に向かう姿勢を育む。
					数学	数学的活動を通して、粘り強く考える態度と課題解決に向けて筋道立てて捉える姿勢を養う。
2 年	◎学校生活の中で、生命の尊厳と人権尊重の意識・態度を養い、民主的な集団・社会の形成者としての資質を育成する。	◎各学科における専門的な知識・技術を習得する。また、次年度に向けた適切なコース選択を行う。 ◎体験活動に積極的に参加することを通じ、自己の適性理解につとめる。 ◎様々な情報を収集し活用することを通じ、将来設計につながる進路探索に取り組む。	◎修学旅行をおとして、歴史や文化・自然に関する知識を学び、視野を広げ、平和の尊さを学ぶ。 ◎中堅学年としての自覚を持ち、集団生活を通して協調性・主体性を高め、高校生活を充実させる。	◎生徒会活動・部活動等における伝統を学び、自ら先頭に立っていける力を養う。	理科	自然の真理と趨勢を直視し、ものごとを科学的に捉えようとする態度を育む。
					保健体育	個人と集団それぞれの存在意義を捉え、相互の協力と個々の違いを認め合う態度を養う。
					芸術	様々な現象や造形に対する見方と感性を高め、心豊かな社会を創造する態度と情操を培う。
					外国語	言語活動と教材をとおして、様々な異なる文化的価値観を深め、他者と社会に対する想像力を養う。
3 年	◎さまざまな活動・経験などを通じて、国内外に視野を広げるとともに、平和な社会に寄与しようとする態度を養う。	◎各コースにおける専門性の応用・活用をはかる。また資格取得等職業技術能力の習得につとめる。 ◎自己の能力・適性を的確に判断し、進路についての具体的な目標を決定する。 ◎自ら課題を設定し解決していくことを通じ、希望進路実現を目指す。	◎進路実現に向けて努力するとともに、将来社会人として必要な基本的マナーや一般常識を身につけ、それらを実践できる力を養う。 ◎上級生として責任ある行動力と豊かな創造力を身につけ、指導性と社会性を高める。	◎各種活動をおとして培った力を、社会生活において発揮できるように、より実践的な活動に取り組む。	家庭	家庭生活と社会生活をとおして、家庭や社会の一員としての自覚と生き方を考える姿勢を育む。
					情報	膨大な情報を、科学的にまた的確に捉え、人間社会に貢献できる態度を養う。
					農業	自然との共生をおとして、命の尊さと持続可能な社会づくりの大切さを身につけ、社会貢献意識の醸成を図る。
					総合的な探究の時間	さまざまな問題をおとして、課題解決能力と社会の形成者としての意識を高める。

家庭・地域との連携	◎学校の教育方針や教育内容を機会あるごとに家庭に伝えることによって学校に対する理解を促し、信頼と協力を得るとともに、家庭と連携を図りながら、家庭の教育力の向上を図る。 ◎学校に対する意見や要望に耳を傾け、保護者相互の情報交換や意見交流を活性化し、PTA活動への関心と理解を深めるとともに、保護者の願いを教育活動に反映させる。 ◎地域との連携を通じて、地域の伝統や食文化などを体験的に学びながら、地域を理解するとともに郷土愛を育み、地域の環境保全や景観美化に対する意識の高揚を図る。 ◎世代間を超えた協働の取り組みやボランティア活動を通じて、社会性やコミュニケーション能力、奉仕福祉の精神の育成を図る。
-----------	---